

# 2024 Ophthalmic Surgery Film Award

日時: 2024年11月16日(土) 16:10~17:10 会場: 第2会場 (国立京都国際会館 1F アネックスホール 1)

## 授賞結果報告

Ophthalmic Surgery Film Awardは、「手術のプレゼンテーション映像を一定の基準のもとで評価するシステムを確立していくことで、日本の眼科手術の発展に寄与する」という趣旨で2005年に設立しました。設立以来多くの先生方にご支持をいただき、また共催会社のご尽力などにより、2006年に第1回授賞式を開催、今年で19回目を数えることとなりました。Film Awardを始めたころは、まだこうした手術映像の評価システムは日本国内では根付いていなかったのですが、これまでの応募作品のアイデアが医療品や医療器具に実用化されるなど、日本の眼科治療の中に浸透、定着しはじめており、発起人として喜ばしく思っております。

例年申し上げておりますが、Film Awardは映像技術の優劣を競うものではありません。整ったきれいな映像ではなく、手作りの映像であっても新しいアイデアやコンセプトがあり、手術技術に優れているかどうかを重要視して審査をしております。なお、審査員が関連している施設からの応募があった場合、該当者は審査から外れるなどして、できるだけ公正な審査を心がけております。

このFilm Awardのセレモニーは、応募者の皆さんに一切事前連絡を差し上げず、Film Award当日に授賞発表をお待ちいただくスタイルを取っております。応募者の皆さんにとっては、緊張と興奮のひとつときとなったことでしょう。

Ophthalmic Surgery Film Awardの表彰は次の3部門に分かれています。

- Technique/Complication Management部門
- New Concept部門
- Educational部門

それぞれの部門にGoldとSilverがあり、かつ全体を通して最も優れている作品に対して、Grand Prixが授与されます。審査の結果、今回もすばらしいGrand Prixと3つのGold、3つのSilverの作品が誕生しました。今回の7作品以外にもすばらしい作品が多く、私たちもとても勉強になりましたし、今後にも大いに期待したいと思っております。

Ophthalmic Surgery Film Award 選考委員代表 大鹿 哲郎



筑波大学  
医学医療系 眼科 教授  
大鹿 哲郎 先生

選考委員(五十音順)



国際医療福祉大学  
白井 智彦 先生



昭和大学  
恩田 秀寿 先生



東京慈恵会医科大学  
中野 匡 先生



岡山大学  
森實 祐基 先生

# 2024 Ophthalmic Surgery Film Award 受賞者

Grand Prix グランプリ



## New Concept 部門

### 「TLEにおける2箇所連続牽引糸法」

尾道総合病院 眼科 主任部長  
曾根 隆志 先生

栄誉ある賞を頂き、想像を超える現実への理解に時を要しました。様々な壁を越え作品を完成できたことに感慨を覚えます。これまでご指導いただいた先生方への感謝とともに、大変光栄に存じ、心よりお礼申し上げます。



## Technique/Complication Management 部門賞



### 「スキルいらずで低侵襲な 広角強膜圧迫器」

倉敷成人病センター 眼科 医長  
野田 雄己 先生

円周方向の圧迫を評価していただきありがとうございます。  
総合新川橋病院、倉敷成人病センターの皆様に心から感謝申し上げます。



### 「こんなのであったらいいなをつくりました 結膜・テノン囊にやさしい 手術器具」

倉敷成人病センター 眼科 医長  
杉原 佳恵 先生

あったらいいなと思ってつくりました。  
トラベクトミーやプリザーフローをされる先生方にも活用していただけたら嬉しいです。



## New Concept 部門賞



### 「CTRには 囊固定作用は 本当にないのか？」

しもわけ眼科 院長  
下分 章裕 先生

この受賞は、私が立てた仮説の証明に付き合ってくださいました杉浦先生の努力のおかげだと思っています。ありがとうございました。



### 「落下IOL 摘出鑷子の工夫」

森井眼科クリニック 院長  
森井 香織 先生

硝子体中に落下した眼内レンズを安全に把持し取り出す鑷子がなく考案しました。確実な把持で安全な手術に貢献できると光栄です。



## Educational 部門賞



### 「手術スキルの向上と術者としての 現役寿命を伸ばす可動式 電動昇降アームレスト」

有田眼科 院長  
有田 量一 先生

緊張して手先が思うように動かない、高齢になって手先に不安を感じる先生方が安心して手術ができるようになればと開発しました。



### 「3D print技術を用いた レーザー練習用 模擬眼の開発」

国立病院機構 九州医療センター 眼科  
和田 伊織 先生

この度はありがとうございます。一緒に研究をしてくれた帝京大学の佐々木先生にもお礼を申し上げたいと思います。

